

ホーム名：グループホーム柏原 2階 いこい					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・堅苦しくなく心ある丁寧な言葉 使い。・他人に優しく、自分に厳しい。(すべての利用者様・ご家族様・近隣の皆様・役所方々・お世話になっている出入りの方々・共に歩む同僚)を理念に取り組んでいる。	事業所理念はエレベーター内に掲示されている。入居者と意識的にコミュニケーションをとるなかで実践の共有に繋げている。	管理者・職員間で作り上げた理念を今後共、地域や入居者のニーズ、事業所の状況の変化によって具体化され、理念がケアに反映されることに期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	老人会長とも懇意にし、施設周辺の草引き等おこなって頂いている。また、運営推進会議を通し、様々な意見を頂いている。また、月1回の「老人の集い」に利用者様と一緒に参加している。	自治会に加入し、町会等の情報は得られ、地域の保育園児の事業所訪問・まつり等参加している。近隣の方とも日常の会話があり、入居者に対しても散歩時に声かけがある。	地域とのふれ合いで入居者同士が「楽しかった、行ってみたい」に繋がる支援に期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩等外出時には、ホームスタッフからの挨拶を心掛けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に1回、運営推進会議を開催し、そこで得た意見を再検討し、サービスの質の向上に活かしている。	運営推進会議には、入居者家族代表・包括支援センター・柏原市民病院地域医療連携室・介護相談委員・老人会会長・高齢介護課・医師・看護師と案内している。フロア毎の行事・ヒヤリハット・等が検討課題として報告されている。	入居者の日常生活、支援サービスに対する具体的な内容等も照会され、自己評価、外部評価の結果についても運営推進会議で確認されたい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	研修などがあれば積極的に参加するようにしている。また、市の窓口担当者に定期的に出向き、意見交換等おこなっている。	高齢課職員が運営推進会議に参加している。資料も手渡されている。	担当職員の方に入居者の生活、支援の実際についての理解、見解を聞く等、看取り支援についても、予測できる課題として情報提供をされたい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	研修等に参加し学んでいる。施設内においては、管理者よりフロアリーダーによる徹底を指示している。また、定期的にフロアでも検討している。	身体拘束はしていない。車椅子利用者も足を床面に着地している。居室も入居者本意の配置となっている。	1人ひとりの入居者の感情表出習慣、変化を把握する中で行動の意味についても職員間で共有し、入居者が安心して暮らせるホームづくりに期待する。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等に参加し学んでいる。施設内においては、管理者よりフロアリーダーによる徹底を指示している。また、定期的にフロアでも検討している。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修等に参加し学んでいる。権利擁護・成年後見制度について学んでいる。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な時間をとり実施している。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様とコミュニケーションを図り、問題があれば適宜カンファレンスをおこない、問題解決に取り組んでいる。</p>	<p>家族来訪時の声かけ、手紙による報告等で意見交換の機会をつくっているが入居者からの意見反映は困難な面もある。</p>	<p>家族不在の入居者にとって事業所は大きな家族といえます。そのなかで看取りの希望にこたえ、入居者が信頼し、安心して暮らせる環境、支援が継続されることに期待する。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>定期ミーティング時、各個人の意見や提案を発言する機会を設けている。</p>	<p>定期的な話し合いや、研修機会等発言の機会はある。管理者は今後、個別面談も考えている。</p>	<p>職場での人間関係は「聞きやすい・言いやすい」何でも言い合える雰囲気がある。管理者の願う「明るく・楽しい」職場づくりが入居者への一番のプレゼントになっていくことを期待する。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>努力や実績が認められた場合は、給与及び評価として賞与に反映される。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月1回常勤者会議を開催し、スキルアップに努める。また、定期的にフロア会議の際に勉強会をおこない、技術・知識の向上に努めている。また、月1回のパート研修においてもスキルアップに努める。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>大きな研修、訓練（消防訓練）等にお互いどのようにしているか等話合う場を作り、月1回同業者との交流をもち、また、勉強会等おこない、サービスの質の向上に取り組んでいる</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>面接に積極的に向き、できるだけ会う機会を多くもつように心がけている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>面接に積極的に向き、できるだけ会う機会を多くもつように心がけている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>状況を十分に検討し、入居以外の方法も助言している。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご自身で出来る事はして頂き、出来ないことについても声掛けをおこない、ゆっくりと本人主導の介護をおこなっている。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族様には面会に積極的に来て頂くように声を掛けている。また、行事が開催される際は、本人様と過ごして頂けるよう取り組んでいる。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>オープンなホーム（面会はいつでも可能等）を目指し、今までの交流が途切れないようにバックアップしている。</p>	<p>入居者の馴染みの人や訪問者は多いとはいえないが、一切制限はしていない。</p>	<p>これまでの人生での楽しかった思い出等に触れるコミュニケーションで入居者に寄り添える支援を継続されたい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>朝の体操や個々にあったレクレーションを考え、利用者様同士の交流が出来るように常に考えている。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了後も家族様に年賀状送付したり、電話での近況を確認し、関係を断ち切らないように努めている。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の想いを大切にし、可能な限り希望に添える生活が送れるように努めている。	入居者一人ひとりの思いを引き出すコミュニケーションを職員全体で共有できるよう取り組んでいる。	常勤・非常勤、共にスキルアップのため、研修計画等で努力されている。今後も継続されるよう期待する
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	ひもときシートをもとに利用者様や家族様の方に話を聞き取りながら（利用者様が発した言葉等も）全職員でこれまで生活歴等を共有し、本人らしい生活が送れるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ひもときシートをもとに、定期的カンファレンスをおこない、個人ケア記録をもとに個々の1日の過ごし方、心身状況等を職員間で把握できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	「どのような生活を送りたいのか?」「どのようにすれば本人らしい生活が送れるのか?」を職員各々が日々考え、利用者様・家族様の意向に沿った介護計画を作成している。	家族の情報が困難な入居者が多い中で、入居者自身との対話を重んじながら長期・短期に沿った計画、実施記録がある。	3分コミュニケーション成果をいかして、1人ひとりの入居者の個性がにじみ出る記録、喜怒哀楽が伝わる記録で共に生きる生活者の環境づくりの支援を願う。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ケア記録・フロアノート・ひもときシートの中に気づき等記入し、カンファレンス時に計画の見直しをおこなうように活用している。また、ひもときシートをもとに介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じ車を出し、利用者様や家族様の負担を軽減できるように取組をおこなっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年1回消防署より防火訓練の講習に来て頂けるように努め、利用者様が安心して暮らして頂ける環境作りに努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様・家族様の同意のもと、24時間体制で診てもらっている。	2週間に1回提携クリニックの医師や歯科医師による診察。1週間に1回訪問看護師による健康状態のチェックを行っている。	入居者自身からの症状の変化を訴えることが困難な中で、「いつもと違う」気づきが一番の支援になります。今後共、医療関係者との緊密な連携を願います。

31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>週1回、看護師が来所し利用者様の状況を報告し相談・助言を頂いている。また、異変がみられた際、すぐに連絡し指示を仰いでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>ほぼ毎日面会に行き状態の把握に努め、退院時の迎え入れの準備を行っている。また、担当看護師に状態など情報交換をおこなっている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医を中心に、訪問看護師、ホームスタッフ、家族様と連携をとり、利用者様にあった方針を考え支援している。</p>	<p>本人・家族等の意向を確認し、同意書を頂いている。医師を中心に訪問看護師、介護職員、家族との連携で看取りを行っている。</p>	<p>ここを終の住処とし、看取りを希望する方も多い。他の入居者への影響も踏まえて、ここで出来る事、出来ない事を明確にして、関係者との研鑽を願いたい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを掲示し、周知徹底している。また、消防署職員の方に来て頂き、救急救命講習を受講している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練の実施。また、運営推進会議の際、地域の方の協力を得られるように働きをおこなっている。</p>	<p>前回の外部評価により年2回避難訓練を実施するようになる。直近では9/26自主訓練で4階を火元とするフロア誘導を行った地域との協力体制を心掛けている。</p>	<p>新築移転計画があるようですが現段階でも車椅子入居者の安全移動のために地域住民の具体的な協力を得た訓練を実施されたい。必要な物品の備蓄も確保されたい。</p>

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>介助中は、第三者から見られない聞こえないように、本人の自尊心を大切にしたケアをおこなっている。</p>	<p>3分間コミュニケーションや、ひもときシート等用いて1対1で向き合い、信頼関係をきづき、どのようにしたら相手の言葉を引き出せるか、深く知ることができるかといった取り組みを行っている。</p>	<p>1人ひとりを大切にしている姿勢がうかがわれ入居者も前より明るくなっているとのは支援の成果と考えられます。</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者様との信頼関係の構築に努め、利用者様の意向に沿う生活が送れるように支援している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事や起床時間、入浴、散歩は一人一人の時間や体調、気分に合わせ支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>毎朝、整容に努める。気候にあった衣類を着て頂けるよう支援している。また、理容・美容は2ヶ月に1回業者が訪問し、本人の希望を聞きその都度対応している。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>ある程度利用者様の希望も聞きながら個々でのメニューの変更もおこなっている。能力にもよるが準備、片づけ等出来ることは一緒におこなっている。</p>	<p>業者が献立材料を配達。前もってメニューの希望を出すこともある。調理は1週間ごとの持ち回りでアレンジして作る人もいる。とろみ食の人や自分の手で箸を持ち1時間以上かけて食べる人もいるなど、1人ひとりの状態に合わせた支援を行っている。</p>	<p>食べることは生きること、入居者にとっての食事は心身の状態をあらわすバロメーターでもある。こちらから大切にして支援されたい。</p>
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>個々の摂取量に応じた盛り付けをおこない提供している。また、利用者様に食事形態にあった支援をおこなっている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後実施している。ご自分で出来る方は声掛け・見守りおこなう。出来ないかたはスタッフにて口腔ケアおこなう。また、週1回訪問歯科の指導を頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々のパターンを把握し排泄の失敗の軽減に努める。また、定期的な排泄誘導の声掛けもおこなっている。</p>	<p>利用者の状況に応じて介助を行う、便秘の人は腹圧をかけたりしてなるべく薬は使わないようにしている出たときは「スッキリしたね」と共に喜んでいる。</p>	<p>自立が困難な入居者を励まし声かけでトイレでの基本排泄支援を行っている。これからも入居者中心の支援介護を願う。</p>
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>職員は便秘の原因や影響について定期的におこなう勉強会で学び、水分補給や適度な運動、腹部マッサージ等おこない、便秘には注意する。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>利用者様の希望にそい入浴できるよう支援する。楽しんで頂けるよう入浴剤を使用し心の安定を図れるような支援をしている。</p>	<p>週2～3回入浴する、午前、午後1人ずつ湯を替える1人介助か2人介助で入居者の状態に必要な体制をとって行っている。入浴を嫌がる人には午前・午後・翌日と声かけお誘いしている。</p>	<p>夏は大きな窓を開けて入浴したり、冬は脱衣室にヒーターを置いて寒暖を調整しているこれからも楽しく入浴できるよう支援願います</p>

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個々の生活スタイルを大切に、昼寝をされたり、自由に自分のペースで過ごして頂いている。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬について疑問があれば、医師や看護師、薬剤師に相談し変化があればすぐに報告をおこない、支援をおこなっている。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>季節に応じ外出行事をおこない季節感を感じて頂き、充実したホームでの生活が送れるように努めている。また、随時散歩や買い物に行ける環境を整えている。</p>		
49	18 <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>天気の良い日は散歩に出掛けたり、本人様が希望される時は買い物等の外出支援をおこなっている。</p>	<p>外気を浴びる人、1対1で散歩に出かけたり視覚や触覚を大切に季節を感じて頂く。花見、河川敷、神社、地藏盆等に行く不穏になった時も散歩をすることで穏やかになる。</p>	<p>これからも1人ひとりに寄り添う介護を大切にして頂きたい</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者様の能力に応じた対応で支援している。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>年賀状の返信など、本人様に書いて頂けるよう支援している。</p>		
52	19 <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>日中はフロアが明るくなり過ぎないように自然光を取り入れ、落ち着いた雰囲気になるように努める。また、季節感のある花や掲示物などを飾るようにしている。</p>	<p>事業所は借家でハード的には改装に制約があった為工夫、改善に心掛けている。毎月、入居者と季節に合った貼り絵を作っているその作品を写真に写し額に入れて飾っている。</p>	<p>フロアのテーブル座席から厨房の調理の様子が見え匂いも十分伝わる距離。居室前の廊下には機能訓練用のテープが貼ってあるスペースを活用し、入居者を見守り、励まし動く機会を増やされる支援に期待する。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになったり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアのスペースにソファを設置しテレビを観たり、くつろぎの場として、活用できるようになっている。</p>		
54	20 <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時より本人様の使い慣れた家具・寝具を持参して頂き、自宅に近い雰囲気作りに努めている。</p>	<p>各々が思い出の品々や写真を持ち込み自分の部屋である独自性を出して暮らしている。フローリングに畳を敷き入居者のこれまでの習慣が続けられるよう暮らしやすい工夫がみられる。</p>	<p>看取りを希望される方が多い中、まさに居室は終の住処、今後も入居者の落ち着く環境提供を期待します。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自室やトイレにはわかりやすいよう表札を掲示している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない